

# 職リハ学会通信

No.178 2024年 6月発行

## 目次

第51回島根大会のご案内	2P
運営理事会報告	3P
事務局からのお知らせ	5P

## 第51回島根大会のご案内

充実のプログラムが固まりました！ご参加お待ちしております！

第51回大会は、島根県松江市で8月23日（金）・24日（土）の2日間開催されます。早いもので3か月を切りました。実行委員会を重ね、少しずつ準備を進めているところです。多くみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

### ■ 大会プログラム

基調講演は、林大会長による「再考『本人中心』～IPS 伴走型個別就労支援の実践をもとに」です。続く基調シンポジウムは、「職業リハビリテーションにおける『本人中心』を問い直す」です。登壇者は、小野寺徳子氏（厚生労働省福岡労働局）、中川真弓氏（社会福祉法人ふらっと）、朝日雅也氏（埼玉県立大学）、林大会長です。行政、当事者、福祉、医療など、さまざまな立場から意見交換することを企画しています。基調講演と基調シンポジウムを通して「本人中心」について深掘りし、「さまざまな視点や問い」を提示することで、後の各企画につなげたいと考えています。

大会企画シンポジウム①は、「効果的な就労支援の実装・普及に向けた取り組みと未来戦略」です。登壇者は、内野敬氏（東邦大学）、近藤武夫氏（東京大学）、山口創生氏（国立精神・神経医療研究センター）、林大会長です。IPS や超短時間雇用、若者支援などの文脈から、それぞれの実践の概要と実装・普及に関する取り組みを紹介し、未来の普及戦略について議論したいと考えています。

大会企画シンポジウム②は、「どう活かせます!? 就労選択支援」です。登壇者は、鈴木大樹氏（厚生労働省）、倉知延章氏（一般社団法人福岡IPS普及協会）、星明聡志氏（社会福祉法人北摂杉の子会）、前原和明氏（秋田大学）、青山貴彦（社会福祉法人桑友）です。新たに始まる就労選択支援について、都会地と地方それぞれの実践を踏まえ、どのように活用していくかについて意見交換することを企画しています。

大会企画ワークショップは、①「島根の就労支援～地方の特性からの学び～」、②「特別支援教育における進路指導と移行支援の実践」、③「地方における就労移行支援の実践」、④「IPS 伴走型個別就労支援の基礎と実際」という4つ

の企画を準備しています。島根県内における福祉、教育、医療、労働、企業など、さまざまな立場の登壇者から、さまざまな実践をご紹介します。地方、田舎ならではの苦労や悩み、工夫ややりがいなどについてみなさまと共有し、意見交換させていただければと考えています。

また、国際委員会企画のワークショップ「米国における自己決定支援に基づく移行支援の実際」、政策委員会企画のシンポジウム「障害者雇用・就労支援の人材確保と育成～国が示す研修体系の全体像と資格化への道筋～」に加え、研修委員会企画の研修基礎講座3件を予定しています。

このほかに、口頭発表が23件、ポスター発表が28件、自主ワークショップが7件申し込まれています。たくさんのお申し込み、誠にありがとうございます。おかげさまで、充実のプログラムが固まりました。

### ■ 参加申込状況

5月末時点で参加申込は100名を超えています。たくさんのお申し込み、誠にありがとうございます。定員は300名ですので、まだまだ募集しています。ぜひ大会ホームページから事前申込をしていただきたいと思います。事前申込は7月16日（火）が締切です。

情報交換会は、近隣の就労継続支援A型事業所に運営していただきます。美味しい料理や飲み物を準備いたしますので、こちらも、ぜひともお申し込みください。

### ■ おわりに

8月下旬は夏の行楽シーズン。観光地松江は多くの観光客で賑わいます。JR松江駅近辺の宿は既にうまりつつある状況です。お早めの参加申込、宿泊先の確保をお勧めいたします。

実行委員一同、引き続き精一杯の努力をしてみたいです。「歴史と文化の薫るまち 水の都・松江」にて、みなさまとお会いできることを楽しみにしております。

（第51回島根大会 実行委員長 青山貴彦）